

審議会等の会議結果報告

1. 会議名	第1回情報のかけ橋委員会
2. 開催日時	平成31年4月22日(月) 午前10時00分～午後0時00分
3. 開催場所	入札室(本庁舎裏 第3別棟2階)
4. 出席者氏名	(委員) [敬称略] <small>副市長</small> 永作友寛 浅井榮二 山守一徳 中北直子 酒井由美 (事務局) <small>危機管理特命理事</small> 鈴木政博 <small>秘書担当参事</small> 浅井嘉人 <small>広報広聴担当監</small> 岡田久 <small>主任</small> 勝田茂樹
5. 公開及び非公開	公開
6. 傍聴者数	0人
7. 担当	松阪市 秘書広報課 広報広聴係 勝田 電話 0598-53-4312 FAX 0598-22-1119 メール kouhou@city.matsusaka.mie.jp

第1回情報のかけ橋委員会 議事録

【委員会 式次第】

1. 情報のかけ橋委員会の委嘱
2. あいさつ
3. 情報のかけ橋委員会の活動趣旨説明
4. 平成30年度の主な秘書広報課の広報活動の紹介
5. SNS運用状況についてなど報告（報告）
6. 広報イベント(仮題)の骨子について（報告・意見）
7. 来年度のスケジュール（報告）

1. 情報のかけ橋委員会の委嘱

委員長 情報のかけ橋委員会委員を委嘱します。委嘱期間は平成31年4月22日から2021年3月31日までとします。委員の皆さまよろしく願いいたします。

事務局 川口委員は本日欠席の連絡をいただいています。なお今年から新たに酒井委員に入ってくださいました。それでは、委員の皆さまから一言ご挨拶をお願いいたします。

委員 三重大学教育学部に所属している山守です。地域 SNS を発足して以来、関わらせてもらっています。よろしく願いいたします。

委員 民生委員の北部地区の会長をしております浅井です。よろしく願いいたします。

委員 インノースデザインオフィスの中北と申します。よろしく願いいたします。

委員 酒井由美と申します。子育て応援プロジェクト・パインの代表を務めています。子育て支援は非常に大変ではありますが、夢を持ってみんなが笑顔で子育てできる環境を目指して活動しております。松阪市のシニアの方と子育て環境を繋げたり、町ぐるみで市民が一体となり何か一つのことに目標を定めてできることなどの企画をしております。もっと盛り上がるようにアイデアを出していきたいと思っております。よろしく願いいたします。

2. あいさつ

委員長 平成31年度第1回の委員会にお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。この4月から各施設がオープンし観光交流センターや松阪市福祉会館も全面リニューアルしました。また総合運動公園内にスケートパークが誕生し、4月21日までの利用者が2542人にのぼり1日平均150人ほど訪れています。日本スケートボード協会公認で日本でもトップクラスの施設なので上手に情報発信をしていくと全国へ広がるのではないのでしょうか。また、この10連休もどのくらいの利用者がみえるのか楽しみです。広報の発行事業、行政chの番組制作、ホームページの管理、自治会へ委託するといった広報広聴の予算は2億2千万円計上されております。市長が話し

ているように「誰のために、何のためにやっているのか」を常に念頭において制作していく必要があると思います。今年度の委嘱させていただいた期間、皆さまにご意見をいただき、よりよいものにしていくと思っていますのでどうぞよろしくお願ひします。

3. 情報のかけ橋委員会の活動趣旨説明

事務局 情報のかけ橋委員会の成り立ちに関して、平成23年5月に発足しました。主には当時の松阪市ホームページを全面リニューアルすること、市とホームページ利用者との情報の交流をかけ橋として活用することを目的としていました。ホームページのみの委員会でしたが現在ではホームページに限らず広報紙、行政ch、SNSなど市の広報全般について意見をいただいています。

委員構成について酒井由美さんを委嘱したのは昨年度委員をしていただいていた伊藤あやさんからも推薦があったこと、前職においてマスメディア経験があることや子育て中の女性の意見を市の情報発信に反映させることが理由です。直近の主な議事内容は、年に6回程度委員会を開催しています。平成30年度は行政ch運用をメインに話し合ってきました。3000人アンケート、5000人アンケートの結果から市の情報発信において行政chの認知度が低いことが課題となり、皆さまからのご意見をいただいて形にしていきました。また広報全般に関する基本方針も昨年度は作成しました。その結果、松阪市のポスターには必ず松阪もめんが入るように作成しています。平成31年度の主な議事内容については、広報イベントの内容を検討していきたいと思っています。また広報まつさかのデザインリニューアルは最大5年の随意契約でデザインを固定させようと考えており現在4年目になるので秋ごろに来年度の検討をしたいと思っています。合わせて、行政chに対する意見聴取やSNS・ホームページ・広報全般に関する提言をいただき松阪市の情報発信に繋げていけたらと思っています。松阪市全般の情報発信について検討していくのがこの委員会の趣旨となります。

4. 平成30年度の主な秘書広報課の広報活動の紹介

事務局 松阪工業高校繊維デザイン科の生徒2名によるデザインでアイウェアまつさかの収録セットを一新し現在も運用しています。今年度中に更にもう一つのデザインを追加しますが、このデザインも松阪工業高校繊維デザイン科の生徒によるものです。松阪市行政chの放送スケジュールの見直しについて、竹上市長から文字放送を削減し

番組の質を向上するように意見があったのと皆さまからのご意見を形にしました。ニュース番組アイウエーブまつさかの時間を平成30年3月まではおよそ15分だったものを昨年度からは20分に拡大しました。広報まつさかの裏表紙にある「1歳になったよ」の中で紹介しているお子さんは最大で20名掲載していますがそれを上回った場合でも行政chで応募者全員を紹介する「Happybirthday」の運用も4月から開始しました。子育て一番情報の開始では、「リフレッシュママの会」を一年を通して取材し今後の活動に参加してもらえるようPRしました。「はるる遊ぼうDAY」では土曜・日曜に開催しているイベントも紹介しました。高校生及び市職員アナウンサーの育成と採用ということで高校生には松阪市の広報に興味をもってもらうために、また職員には広報の重要性を理解してもらうために実施しました。高校生アナウンサーの委嘱については市長の記者会見の場で活躍しメディアにも取り上げられて認知度の向上に繋がりました。現在も松阪高校の生徒さんには行政chのアナウンサーとして出演いただいています。市職員アナウンサーに関しては去年度引き続き今年度も募集をしているという状況です。まつさかさんぽ「IKKOKA (いこっか)」を自治会連合会と共に制作を開始し情報提供を自治連からいただき松阪市が撮影します。4Kカメラで撮影して美しい動画形式で松阪市の景色を残していきます。これが事を奏したことの一例として地域応援協力隊の職員募集のイメージVTRを先日制作しましたが、「IKOKKA」で撮影した松阪の美しい景色を活用しました。台風接近時の緊急放送について、去年は台風接近時に行政chやFacebook、Twitter等で市長コメントや緊急放送を試験的に流しました。去年は3回ほど放送して1回につき1000人近いアクセスがありました。台風接近時の時間帯によってはスタッフが確保できない場合もありますが引き続き実施していきたい事業だと思えます。松阪高校に関してはCMコンテストがありその模様を全編放送しました。三重高校はダンス部の紹介を放送しました。松阪商業高校ではふるさと納税の返礼品として松阪市内の特産品を集めて一つのパッケージにするといったSBP活動の紹介や飯南高校ではハナノキコンサートを紹介するなどして、高校生とその親世代へのアイウエーブまつさかの認知度向上のため各高校の取り組みを制作しました。飯南・飯高地域のケーブル事業の譲渡が行われこれに伴い飯高放送通信センターを松阪ケーブルテレビに譲渡しました。来年度については、広報まつさかの撮影時に写真家の方にレクチャーをうけて写真の技術を学ぶ予算をつけたり、公開収録をしてはどうかというご意見から広報PRイベントを開催する予定です。また、市内の子どもたちに行政ch名を公募して親しみをもってもらうのはどうかと

のご意見もありました。またニュースに学びがあってもいいのではとのご意見から子育て一番情報に取り入れたりしました。

5. SNS運用状況についてなど報告（報告）

事務局 4月22日のフォロワー数は Instagram では1050人で前回の委員会から39人増やすことができました。Facebook では1857人で前回より16人増えました。さくらの開花状況を SNS でも放送しましたが、再生回数が560回となり、またこのことは中日新聞の松阪紀勢版にも掲載されました。Instagram、Twitter は秘書広報課で投稿していますが、Facebook に関しては全ての部署が投稿でき松阪市の総合的な SNS の情報発信になっていると思います。Twitter は1134人で前回より90人増えました。宣長まつりでの刀剣乱舞のイベント内容の投稿は15万5千人の方に見ていただいて非常に効果があったのではと思います。今年度の目標値については3つの SNS の合計でフォロワー5000を目指しており SNS と行政 ch の相互作用でフォロワー数を増やしていきたいと思っています。

6. 広報イベント(仮題)の骨子について（報告・意見）

事務局 毎年市民意識調査アンケートを実施しており平成30年によると回答世代が60歳以上の方が半数を占めています。それを踏まえて市の情報を主にどのように得ているかという項目で、広報まつさかは75.5%、自治会などの回覧が45.3%です。自宅に各戸配布されるので市民に届きやすいメディアであることがうかがえます。松阪市ホームページは12.4%、SNS は4.1%、行政 ch は7.8%でした。LINE に関しては自治体総合アプリの動向をみながら LINE@についても検討していきたいです。市が掲げている子育て一番宣言を実行するためには子育て世代への効果的な情報発信の検討は不可欠であると考え、松阪市では Facebook、Twitter、Instagram を活用し、それぞれの年齢層、対象者に合わせた多様な情報発信をしています。広報の認知率向上のために全体的な底上げが必要であり広報イベントを開催し PR していく考えです。そこではより多くの人に情報発信手段の存在を認知してもらうのが目的です。これについて意見をいただければと思います。

委員 実験的なところもありますが人を集めるということであれば、全国的に有名な Youtuber の Fischer's-フィッシャーズにスケートパークを Youtube で発信してもらおうと大勢の若年層の集客が見込めると

思います。

委員 スケートパークにはステージや広場はありますか。子どもを安心して連れていける屋根のある場所が好ましいです。

委員 ステージはありませんが、作るスペースはあります。

委員 まずはどのくらいの予算で企画するのかと対象者の年齢層を絞り込んでから考えたほうが良いと思います。年齢層を絞らないのであればまつり会場で開催すれば幅広く集客できると思います。

事務局 予算については景品やトークショーなどそれぞれの項目で計上しています。対象者は子育て世代を中心に考えているのでその世代に影響のあるアーティストの出演を検討しています。

委員 高年齢者層は広報まつさかや自治会の回覧で市の情報を得ていると思います。行政c hはそれほど浸透していないように感じます。子育て世代に「Happybirthday」の存在を知ってもらい投稿してもらうことで親世代にも視聴してもらえるようになると思います。

委員長 人が大勢集まる場所で開催し自治体総合アプリの導入検討に伴い、その情報発信もしていきたいです。

委員 子育て世代を呼ぶのであれば子どもが喜ぶイベントや子育てに役立つ情報を得られるといった内容で企画すれば良いと思います。子育て世代は広報まつさかについては忙しさもあってあまり目にされていないかもしれません。子育てに特化した情報誌で夕刊三重が発行している「YOU」、子育て情報マガジン「きらきら」、三重県全域の幼稚園、保育園で配布している「ママ・ここっと」などがあり、それらの媒体を増やして広く周知していく努力が必要だと思います。1日を通してイベントをするのであれば午前は若年層向けのイベント、午後は高校生といったように時間で分けてもいいと思います。

事務局 集客力が見込めて雨が降りにくい時期を考えると氏郷まつりで、公共施設ではベルファームで行われる松阪牛まつりが候補にあがりません。

委員 ベルファームでは子育てママに人気のあるクラフト&雑貨マルシェが出店しており、その出店日と広報イベントを同日に行えば集客力

が見込めると思います。

事務局 以前の委員会でもご意見がありましたが、住民協議会が主催する地域のまつりには年に何回か参加したいと思っています。今回の広報イベントはまつりや地域のイベントと一緒にを行うのか、広報イベント単独で開催するのかを決めなければなりません。

委員長 まつりや主となる他のイベントに絡んで、時間をかけなくてもいいのでその場を借りてPRするのもひとつのやり方だと思います。現在、高齢層の方は広報まつさか等の紙媒体で、様々な世代の方はSNSを利用して松阪市の情報を受け取っていますが、検討中の自治体総合アプリは登録してもらおうとプッシュ通知で情報発信できるので、そこをしっかりとPRしていかなければいけないと考えます。

事務局 自治体総合アプリは情報企画課が担当しています。運用時期の詳細は未定ですが市民の皆さんには早めにPRしていく必要があると思います。取捨選択できるので幅広い年齢層の方に活用していただきたいです。

委員 例えば、災害時に連携が取れて安心感が得られたら安心を求めるシニア層の方にもPRできると思います。地域の子育て情報を入手できる等の、登録すれば得られるメリットを明確にすれば登録者数を増やすことが可能であると思います。

委員 イベントでアプリを登録してもらい簡単なアンケートに答えると抽選で松阪牛をプレゼントするといった企画もいいのではないのでしょうか。

事務局 意見をまとめまして何らかのイベントの中で広報イベントを開催しようと思います。まつりで集客力があるのは祇園まつりと氏郷まつりです。しかし祇園まつりの日程は7月で時期的に早いので難しいです。まつりの中では氏郷まつり、イベントでは松阪牛まつりという2つから事務局側で出演者も含めて検討させていただきます。出演団体やイベント内容についてのご意見があれば次回うかがいたと思います。行政ch名の募集に関しては、現在番組制作に高校生が携わっていることを踏まえて市内の小学生から高校生までを対象にするのが妥当かと考えます。こちらも次回の委員会でご意見をいただきたいです。

7. 来年度のスケジュール（報告）

事務局 次回の会議日程は6月10日(月)10:00から、5階特別会議室
で開催しますのでよろしくお願いいたします。